

第2次秋田市公共交通政策ビジョンおよび第2次秋田市総合交通戦略の進捗評価について

1. 成果目標指標管理表

目標（目標Ⅱは「基本的な方針」）	施策パッケージ（目標Ⅱは「目標」）	該当指標名	番号	データ定義	データ出典	調査頻度	現況値年次	現況値	H27実績	H28実績	実績を踏まえた今後の方針
目標Ⅰ 歩行者、自転車 が安全・安心かつ 快適に通行できる 空間の整備 の実現	歩行者、自転車 が安全・安心かつ 快適に通行できる 空間の整備	中心市街地の歩行者・自転車交通量	1	中心市街地11地点の歩行者・自転車通行量(日)	秋田市中心市街地活性化基本計画目標指標	毎年	H27	35,056人	35,056人	34,331人	県・市連携文化施設整備や中心市街地循環バスなど計画掲載事業を推進し、改善を図っていく。
		市内の交通事故死傷者数(歩行者・自転車関連)	2	交通事故死傷者数(年)(人対車、自転車対車の合計)	秋田市交通政策課作成資料(ホームページ公表)	毎年	H26	247人	251人	264人	交通安全意識および交通ルール遵守についての啓発活動等により交通事故防止に努めていく。
		市内の高齢者交通事故死傷者数	3	高齢者交通事故死傷者数(年)	交通統計(秋田県警察本部)	毎年	H26	174人	201人	238人	交通安全意識および交通ルール遵守についての啓発活動等により交通事故防止に努めていく。
	にぎわいに寄与 する交通環境の 実現	中心市街地循環バスの利用者数	4	中心市街地循環バス「ぐるる」利用者数(年)	秋田市交通政策課作成資料(中心市街地循環バスの運行実績)	毎年	H26	52,166人	56,460人	56,728人	PRリーフレットの配布や1日乗車券の販売により、利用促進を図っていく。
		中心市街地内の観光入込客数	5	中心市街地内10地点の観光入込客数(年)	秋田県観光統計	毎年	H26	764,131人	715,456人	756,613人	県・市連携文化施設整備や中心市街地循環バスなど計画掲載事業を推進し、改善を図っていく。
		市民による「まちなぎわい」満足度	6	「まちなぎわい」が「よい」「どちらかといえばよい」「ふつう」と回答した割合	しあわせづくり市民意識調査	5年毎	H26	28.6%	—	—	平成31年度の実績を踏まえた上で検討する。
目標Ⅱ まちづくりと 一体となった、 将来にわたり 持続可能な 公共交通網の 実現	多核集約型の都市構造を形成する公共交通網の整備	路線バス利用者数	7	市内の路線バス輸送人員(年)	秋田市交通政策課作成資料	毎年	H26	7,672千人	7,372千人	7,208千人	高齢者コインバス事業やICカード導入検討などにより、利用促進策を図っていく。
	マイタウン・バス利用者数	8	市内のマイタウン・バス輸送人員(年)	秋田市交通政策課作成資料	毎年	H26	195千人	187千人	173千人	上記のほか、各地域の運行協議会において利用促進について検討していく。	
	利便性向上、バス路線運営適正化に向けた取組みの推進	市民による「バス、電車などの利用しやすさ」満足度	9	「バス、電車などの利用しやすさ」が「よい」「どちらかといえばよい」「ふつう」と回答した割合	しあわせづくり市民意識調査	5年毎	H26	46.6%	—	—	平成31年度の実績を踏まえた上で検討する。
	市内のバス運送収入	10	路線バスの運送収入(年)	秋田市交通政策課作成資料	毎年	H26	1,526百万円	1,461百万円	1,424百万円	高齢者コインバス事業やICカード導入検討などにより、利用促進策を図っていく。	
	持続可能な公共交通の確保に向けた仕組みづくりの推進	公共交通に関する協議会や検討会に参加した機関・団体数	11	秋田市地域公共交通協議会及びマイタウン・バスの各運行協議会に参加した機関・団体数(重複は除く)(年)	参加状況を独自に集計	毎年	H26	64団体/79団体(81%)	73団体/85団体(86%)	69団体/82団体(84%)	引き続き、協議会等への参加を促進し、公共交通の維持確保に関する意識啓発を行っていく。
目標Ⅲ 拠点間ネット ワークを形成 する道路網の 実現	多核集約型都市の骨格となる道路網の整備	都市計画道路の整備率	12	都市計画道路の路線延長に対する供用延長の比率(※概成済み延長は含まない)	路線別都市計画道路整備状況	毎年	H26	74.33%	74.46%	74.48%	第6次秋田市総合都市計画に基づき、整備を推進していく。
	拠点間ネットワークを強化し 走行性を高める 道路整備	市民による「道路の整備状況」満足度	13	「道路の整備状況」が「よい」「どちらかといえばよい」「ふつう」と回答した割合	しあわせづくり市民意識調査	5年毎	H26	69.6%	—	—	平成31年度の実績を踏まえた上で検討する。
		拠点間のピーク時間帯所要時間	14	4地域の市民SCと秋田駅の朝ピーク時の所要時間を計測	秋田市交通政策課担当者が所要時間をストップウォッチにより計測	中間年最終年	H27	40分	40分	—	平成30年度の実績を踏まえた上で検討する。
	安全で円滑な交通の実現に向けた取組	市内の交通事故死傷者数(自動車関連)	15	交通事故死傷者数(年)(車対車)	秋田市交通政策課作成資料(ホームページ公表)	毎年	H26	879人	829人	923人	交通安全意識および交通ルール遵守についての啓発活動等により交通事故防止に努めていく。
	市内の主要渋滞箇所数	16	市内の主要渋滞箇所数	秋田県渋滞対策協議会作成資料(ホームページ公表)	不定期	H24	36箇所	—	35箇所	渋滞対策を実施しつつモニタリングを継続する。(秋田県渋滞対策推進協議会資料より)	

2. 泉・外旭川新駅(仮称)の整備について

駅施設の基本設計および実施設計等が予算化され、検討段階から実施段階に移行したところであり、今後、東日本旅客鉄道(株)秋田支社と協定を締結し、平成33年春の開業を目指し整備を進めていくこととしている。